HP：https://risk-humanerror.jimdo.com/

『心理学教室』３０

安全通信　別冊

Hand in hand

濵口労働安全コンサルタント事務所

〒651-1432

兵庫県西宮市すみれ台３－３－８

H.P　090-1155-3429

 hamachyan58@outlook.jp

ヒューマンエラーの分類　２

３．スリップ（Slip）

　　実行しようとする判断は正しいが、異なった行為を実行

　　認知・判断が正しくても、誤った行動を取ってしまう場合です。その中でスリップとは、Ａをしようと思っていたのに、Ｂをしてしまうことです。

* 事例　スリップの例

１）．一日中会社で多数の電話を受けていると、家でもつい「はい、○×商事です。」と名乗ってしまう。

２）．A,Bの二つのボタンがあり、Aボタンを押すはずが、Bボタンを押してしまう

３）．前から歩いてきたのは、横山さんなのに、『前川さん』と言ってしまう

４）．コンビニで支払いは500円なのに50円硬貨を出してしまう

５）．3番目だと思っていて、４番目のボタンを押して、実際は３番目のボタンを押さなければならなかった。

４．ラプス（Lapse）

 実行段階での”抜け”の失敗によるエラー。手順忘れや気の焦り

 計画自体は正しかったのに、実行の段階で”抜け”が出てしまって失敗してしまったもの。

* 事例　ラプスの例

１）．３番目だと思って、3番目のボタンを押したが、実際は４番目のボタンを押さなければならなかった。

※思い込み、思い違い

2).外出する際、家の鍵を掛けたと思っていたが、帰ってみると鍵がかかっていなかった。

５．ミステイク（Mistake）

　　計画段階の失敗によるエラー。前提の考え違いや知識・経験不足

　　正しく実行はできていたが計画自体が間違っていたもの。

　　ルールベース及びナレッジベースでの「問題解決の失敗」であり、ベテランでも起こしてしまう可能性が大いにあります。

* 事例　ミステイクの例

1).下り線の橋脚を作るはずが、上り線の橋脚を作ってしまった

※嘘のような話ですが、実際に経験した話です。基礎杭まで施工されました